

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

<p>学会名</p>	<p>ユーグレナ研究会 第33回研究集会（2017年8月26日）北海道帯広市とかちプラザ</p>
<p>演題名</p>	<p>ユーグレナのカロテノイド合成の調節におけるジャスモン酸の生理作用の解析</p>
<p>発表者</p>	<p>加藤翔太*1, 中村将志**1、齋藤梓**1、齊藤圭祐**1、湯本絵美1、横田孝雄1、高市真一2、山根久和1、篠村知子1（1帝京大・理工・バイオ、2東京農大・生命科学） （*植物分子細胞学研究室博士研究員、**H29年度植物分子細胞学研究室卒研究生）</p>
<p>内容</p>	<p>ユーグレナは植物ホルモンの一種であるジャスモン酸を合成しますが、その生理機能は明らかではありません。我々はユーグレナの光防護機構としてのカロテノイドに着目し、カロテノイド合成の光ストレス応答にJA類が関与している可能性について調べています。本発表では、やや強い光強度での光ストレス条件下でのジャスモン酸類（ジャスモン酸メチル）処理がユーグレナの細胞増殖やクロロフィルとカロテノイド含量に及ぼす影響について調べた結果を報告しました。 本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、学内外の研究者と共同で行いました。</p>
<p>関連画像</p>	